

2016年3月期 決算説明資料

証券コード：5938

(2015年4月 – 2016年3月)

株式会社 LIXILグループ

2016年5月9日

LIXIL Link to
Good Living

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期 決算の概要



LIXIL Water
Technology
(LWT)



LIXIL Housing
Technology
(LHT)



LIXIL Building
Technology
(LBT)



LIXIL Kitchen
Technology
(LKT)



LIXILジャパン
カンパニー (LJC)



流通・小売り
(D&R)



住宅・サービス
(H&S)

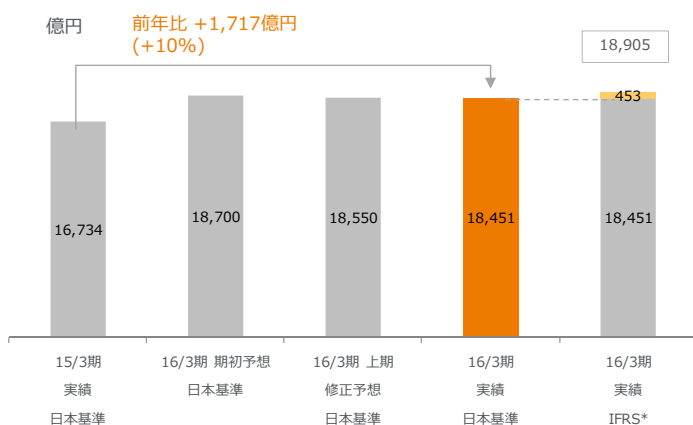
2016年3月期 事業業績結果(1) 日本基準

売上・事業利益（日本基準：営業利益）増収増益

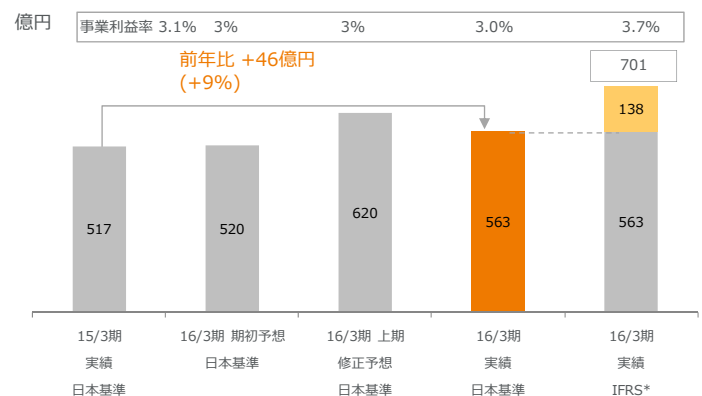
- ✓ 増収(+10%)・増益(+9%) (日本基準の売上・営業利益)
- ✓ 一時的要因を除く実質ベースの事業利益では上方修正ガイダンスをクリア
- ✓ 既存ベースで国内・海外共に増収
- ✓ GROHEの連結効果も大きく貢献し、海外売上比率が30%へ上昇
- ✓ 実質ベース事業利益は日本のリフォーム売上、LWTの米国・アジアが増益牽引
- ✓ 低収益・ノンコア事業の売却や工場再編を実行し、収益性・効率性向上へ
- ✓ Joyouに関する保険の回収と税効果は翌期以降に持ち越し

2016年3月期 事業業績結果(2) 日本基準

売上



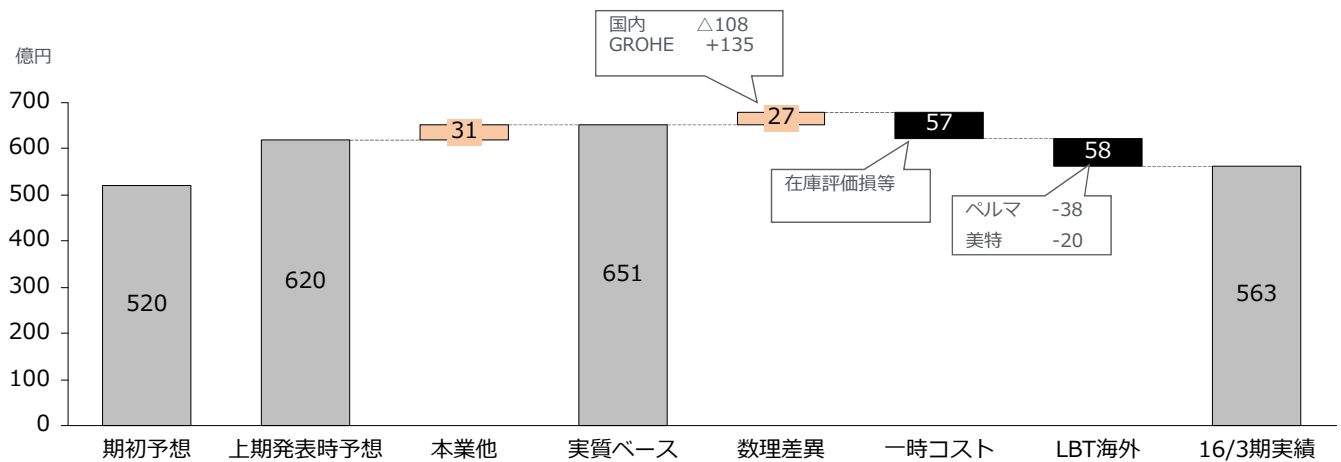
事業利益(CE)



2016年3月期のハイライト（日本基準・前期比）

- 売上は主に日本のリフォーム・LWTやLBT海外が牽引
 - GROHE新規連結 売上影響 1,360億
 - 建デポ カーブアウト売上影響 -157億
 - 既存売上増収 +520億 (+3%)
- 体質ベースでは順調に利益成長
 - GROHE新規連結 CE影響 200億 (GROHE335億、のれん-61億、PPA-73億)
 - 日本数理差異ほか一過性 -195
 - ビル海外一過性 -79
 - 既存実質CE増益 +120 (+23%)

事業利益：上期発表時修正予想との比較（日本基準）



2016年3月期 連結業績結果 (日本基準)

EBITDAは大きく成長

億円	15/3期 実績	16/3期 実績	前年比	
			増減	%
売上高	16,734	18,451	1,717	10.3%
事業利益 ⁽¹⁾	517	563	46	8.9%
事業利益率 (%)	3.1%	3.0%	-	-0.0P
当期純利益 ⁽²⁾	220	-187	-407	-
のれん償却前 当期純利益	326	-56	-381	-
のれん償却前 EPS(円)	112	-19	-131	-
EBITDA ⁽³⁾	1,089	1,287	198	18.2%
EBITDA 比率 (%)	6.5%	7.0%	-	+0.5P

■ 16/3期のその他補足

<売上総利益率>

26.7% ⇒ 28.4% 1.7P改善

<営業外>

為替差損等一時要因で前年比△140億

<特別損益>

P.39参照
投資関連損失や事業減損など一時要因
が大きく前年比△404億

<税金費用>

関係会社投資関連損失(特別損失279
億)の税効果は4Q計上を予定していた
ものの来期以降に見送り

(1) 従来の「営業利益」

(2) 親会社の所有者に帰属する持分

(3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

一部事業・資産の売却/撤退等

社名	実施時期	実施概要	16/3期（億円）*1			
			売上	事業利益	当期純利益	総資産
建デポ	2015年10月	LIXILから分社化、 LIXIL議決権34%に	157	※2 -4	-	-
ガスター ※3	2016年3月	保有全株式をリンナイ㈱に譲渡	-	-	-	-
驪住建材（瀋陽）有限公司	2016年3月	保有株式の100%売却	3	-5	-11	20
上海美特カーテンウォール	2016年3月	保有株式の100%売却	196	-60	-68	300

*1 当該事業の連結消去後の実績、日本基準

*2 分社化前の上期分の実績

*3 リンナイ㈱・東京ガス㈱が出資するガス給湯器・住設機器等の製造・販売

生産体制の再編

実施時期	内容	対応/目的	部門
2014年8月	中国 驪住建材(蘇州)の 衛生陶器製造ラインを閉鎖	中国American Standard・ ベトナム工場へ移管	L W T
2014年12月	GROHE カナダ工場の閉鎖	ASBメキシコ工場へ移管	L W T
2015年4月	(株)LIXILとサンウエーブ工業(株)他2 社を合併	グループ会社のスリム化	L K T 他
2015年6月	ASB ネバダ工場の閉鎖	ASBメキシコ工場へ移管	L W T
2015年12月	立野工場（富山県、金属製建材製 造）の操業停止	小矢部工場（富山県）に集約	L H T
2016年3月	青山工場(三重県、電子部品製造) の操業停止	知多工場(愛知県)に集約	L W T
2016年4月	(株)小山LIXIL製作所及び(株)可児 LIXILサンウエーブ製作所を(株) LIXILに吸収合併	製造事業・従業員は新設会社 に事前に分割し、現会社の事 業を継続	L W T・ L K T
2017年3月予定	久居工場の材料部門を操業停止	生産量を他工場に移管するこ とで、材料部門全体の稼働率 向上をはかる	L H T

資産効率強化と規律ある資本配分

連結財政状態

	(A)	(B)	(B)-(A)
	GROHE連結		
億円	後期首	16/3 期末	実質増減
現預金	2,448	1,518	-930
有利子負債	8,203	6,802	-1,401
Net有利子負債	5,755	5,284	-471
総資産	22,537	20,609	-1,928
自己資本比率(%)	26.3	26.4	0.1

運転資本と設備投資

	(A)	(B)	(B)-(A)
億円	15/3 CF	16/3 CF	(B)-(A)
運転資本	522	535	13
減価償却費	507	605	97
設備投資	-626	-680	-54
その他	-306	1,076	1,382
FCF ※1	97	1,536	1,439
ノーマライズドFCF ※2	763	1,023	260

- 総資産1,928億円圧縮
 <主な内訳>
 - 借入金返済に伴う現預金支出 約1,500億
 - 事業売却影響 約290億
 - 為替影響含む有形・無形固定資産減 約250億
- Net D/Eレシオ 97% (期首97%)
- Net Debt/EBITDA倍率 4.1倍

- GROHE株式追加取得・保証債務の支払い等があったもののフリーキャッシュフロー改善
- 一過性の収入・支出を除くベースのフリーキャッシュフローで約260億円改善

※1 FCF=フリーキャッシュフロー

※2 「一過性を除く営業キャッシュフロー」-「設備投資」

株主還元

■ 配当方針

- 配当金についてはのれん償却影響を除く連結ベースでの配当性向30%以上を維持

	15/3期	16/3期	17/3期 (予定)
上期	30円	30.0	30円
下期	30円	30.0	30円
通期	60円	60.0	60円
配当性向	53.7%	-	62%

■ 自己株式取得

- 資金状況、株価水準を判断し、機動的に実施する方針

■ 株式会社の支配に関する基本方針

- 当社では、多数の株主に株式を中長期で保有していただくことが望ましいと考え、業績を向上し企業価値を高めて、株主の支持をいただけるような施策を打ってまいります。よって、敵対的買収防衛策については、特に定めておりません。

役員体制の変更（6月15日株主総会后）（1）

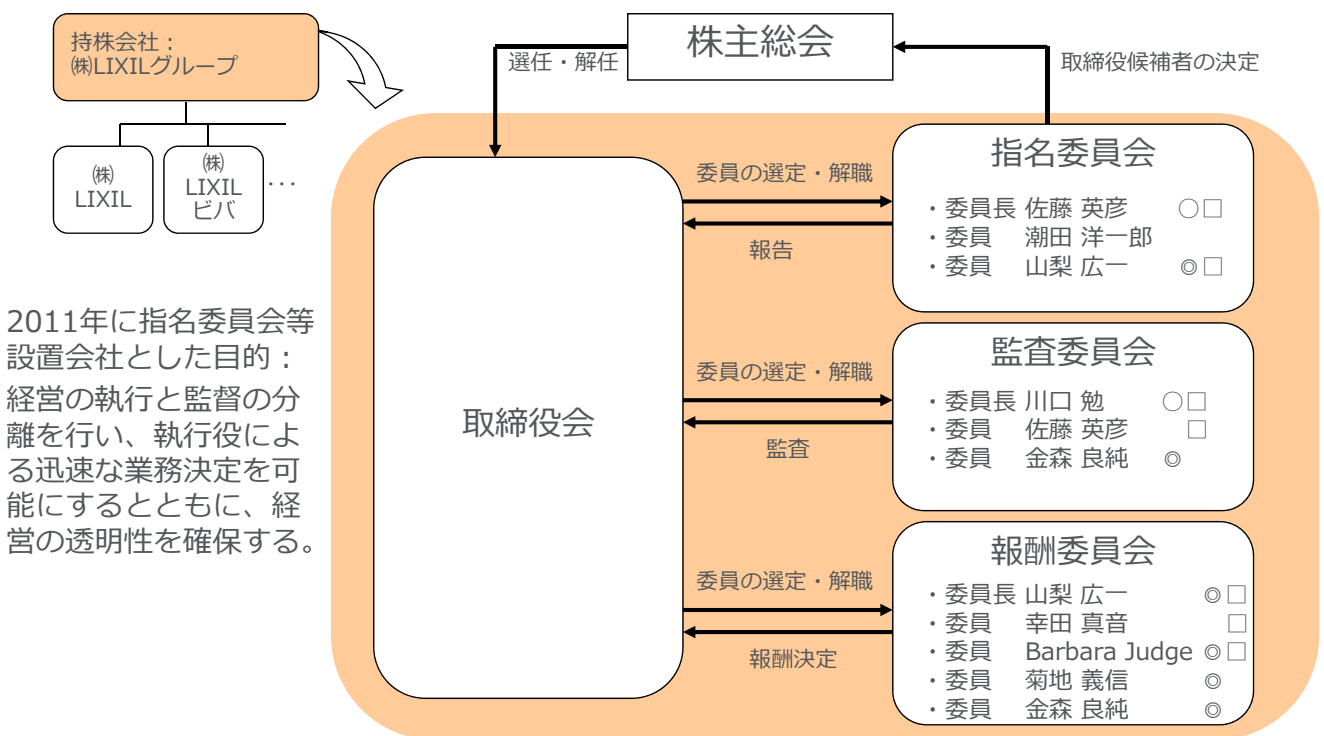
- 取締役一覧（2016年6月15日定時株主総会后予定）（◎は2016年6月新任、□は独立役員、下線付きは女性）

取締役	潮田 洋一郎	
取締役	瀬戸 欣哉*	◎
取締役	金森 良純	
取締役	菊地 義信	
取締役	川本 隆一	◎
取締役	井植 敏雅	◎
取締役	伊奈 啓一郎	
社外取締役	佐藤 英彦	□
社外取締役	川口 勉	□
社外取締役	幸田 真音	□
社外取締役	Barbara Judge	□
社外取締役	山梨 広一	◎ □

* 株式会社LIXIL 代表取締役社長 兼 CEO 兼LWT CEOを兼務

役員体制の変更（6月15日株主総会后）（2）

指名委員会等設置会社での委員会体制（◎は2016年6月新任、○は委員から委員長へ変更、□は独立役員）
本年度より各委員会の委員長は独立社外取締役が就任予定



コーポレートガバナンス : Joyou問題に関する再発防止策進捗について

1. 2015年度までに完了した主要再発防止策

(1) 海外子会社等の管理に関する取組み

- 海外管理における専任部門の設置・機能強化について
 - ・海外における管理強化のための関連会社ガバナンス推進室設立
 - ・海外リスク監査・対応に特化した Global Corporate Audit Staffの設立
(現時点で9名体制を構築、中長期的には20名程度を計画)
 - ・グローバル内部統制部の増員による強化 (3名から9名に増員)
 - ・内部監査委員会のグローバル対応強化
- 海外主要子会社の取締役、従業員を含むコンプライアンス研修の実施

(2) M&Aの進め方と買収後の統合プロセスに関する取組み

- M&Aガイドライン および PMI(買収後の統合プロセス) ガイドラインの策定
- 買収子会社の監査法人統一

2. 2016年度以降実施の主要施策 (2015年度より継続実施事項)

- 本社管理部門の強化 (地域財務センターの設置、監査業務連携等)
- コンプライアンス組織の強化およびコンプライアンス教育の継続実施
- 内部通報制度の海外における運用強化

Driving Technology Innovation – AQUA CERAMIC

汚物や水アカの付着を防止し、キレイが100年つづく革新的防汚技術「アクアセラミック」誕生



100年 クリーン

水のチカラで、ずっと輝く

AQUA CERAMIC

トイレの4つの汚れすべてに対応

	従来の 衛生陶器	AQUA CERAMIC
キズ	◎	◎
細菌	◎	◎
汚物	○	◎
水アカ	×	◎

「アクアセラミック」の特長

- 汚物汚れを水のチカラで浮かして流す“超親水性”
陶器に付着した汚れの下へ水が入り込み汚れを浮き上がらせ、少量の洗浄水で、汚物を綺麗に洗い流す
- 「水アカ」の固着を防ぎ「便器の黒ずみ」の悩みを解消
陶器表面を「水酸基が露出しない構造」としたことで「水アカ」が固着しないため、新品の時の輝きが100年以上続く

Driving Technology Innovation – Edgewater Collection

American Standard Brandsがホース引出式 “Edgewater コレクション”の水栓金具を発売

- 4つの吐水パターンと止水機能を備えるキッチン用水栓金具を提供
- American Standard Brandsが特許を有するSelectFloのスプレー技術を採用
- 上記の多機能操作を取り入れたホース引出式、多機能操作を組み入れスプリング式の2タイプとデザインにマッチしたシングルタイプ の3つをラインナップ
- スクラブブラシをオプションで取り付け可能
- 57か国5,200以上の中から栄誉ある「レッドドット・デザイン賞 プロダクトデザイン 2016」を獲得



American Standard Brandsのキッチン水栓金具“Edgewaterコレクション”は、その魅力的なデザインおよび多機能操作で“レッドドット・デザイン賞 プロダクトデザイン2016”を受賞



2016年4月発売（アメリカ）

LIXIL

15

Driving Technology Innovation – SAMOS L

高性能ハイブリッド窓「サーモスL」新発売

日本の窓の高性能化を一気に進める戦略商品として、一般的なアルミ窓（複層ガラス）と同等価格のアルミと樹脂の高性能ハイブリッド窓「サーモスL」を開発

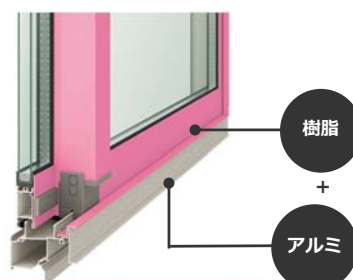
■ 商品の特長

1. アルミと樹脂のハイブリッド構造で、高い断熱性能を実現
2. フレームを約50%スリム化し、すっきりとした窓辺を実現
3. 躯体掛かり寸法36mmを確保し高耐久性を実現
4. 一般的なアルミ窓（複層ガラス）と同等価格にてご提供
5. 家1棟分に対応する多彩な窓種をラインアップ

一般的なアルミ窓

高性能ハイブリッド窓

SAMOS L



高性能ハイブリッド窓「サーモスL」施工例

西日本地区：2016年6月1日発売
東日本地区：2016年8月1日発売

LIXIL

16

Driving Technology Innovation – ECOCARAT+

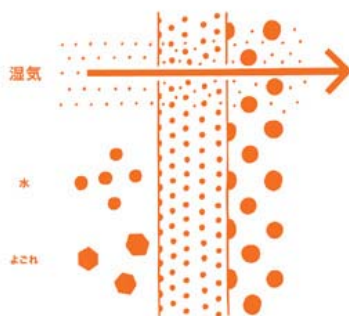
介護老人保健施設、宿泊施設など非住宅向けに「エコカラットプラス」4シリーズ追加発売

優れた調湿機能に加え、気になる臭いや有害な物質も低減し、室内の快適な空気環境づくりをサポートする多孔質セラミックスの内装機能建材「エコカラット」に清掃性の機能をプラスした「エコカラットプラス」に病院・老人福祉施設などの食堂、ロビーなどのパブリック空間に提案しやすい大型サイズで明るい色合いの4シリーズを追加

「エコカラットプラス」商品特長

- 優れた吸放湿機能で“ちょうどいい湿度”
- 生活臭軽減効果で“ニオイすっきり”
- 有害な物質もすばやく吸着“有害物質フリー”
- 二層多孔質構造の採用で“シンプルお手入れ”

二層多孔質構造は水分や汚れのような大きな粒子は通しにくい構造となっているので、汚れを通しにくく、簡単に拭き取ることができる



内装機能建材「エコカラットプラス G シリーズ R スリット

2016年4月発売

LIXIL

17

グローバル従業員意識調査

「LIXIL Heartbeat 2015」結果報告 (1)



LIXIL
Heartbeat

“One LIXIL”の下、社員のエンゲージメントを把握し、働きがいのあるより良い職場を目指すため、初めてグローバルでの従業員意識調査、「LIXIL Heartbeat 2015」を実施

■実施期間：2015年10月下旬より約3週間

■主な設問：

- 従業員満足度
- 持続的なエンゲージメント（モチベーション・労働環境）
- 会社の目標・ゴールの理解、浸透の度合い

■回答率：90.2%

（全世界で約66,400人からの回答 / 国内勤務者 約33,400人・海外33,000人）

グローバルにおける意識調査の一般的な回答率は“約70%”

■LIXILグループ全体結果：

- 従業員満足度： 好意的回答 64% / 非好意的回答 9%
- 持続可能なエンゲージメント： 好意的回答 70% / 非好意的回答 12%
- 会社の目標・ゴールの理解： 好意的回答 81% / 非好意的回答 5%

LIXIL

18

グローバル従業員意識調査 「LIXIL Heartbeat 2015」 結果報告 (2)



■ 結果概要 :

好意的回答の高かった項目 : ゴール・目標、LIXIL Valuesの理解、自社製品・サービスへの信頼、会社への誇り、仕事への達成感

→80%を超える従業員が会社のゴール・目標および自身の業務責任を理解している。また、自社の製品、サービスを信頼し、会社への誇りや仕事への達成感、業務の効率化に高い価値を置いて働いている

好意的回答の低かった項目 : 業務の効率・最適化、人事評価、管理

→オペレーションの最適化とパフォーマンスマネジメントに関して好意的な回答をした従業員は20-50%のみ。特に承認プロセス、業務の優先度の変化、およびパフォーマンスが低い社員への寛大さについて批判的な結果になった

※次回のグローバル従業員意識調査は、2017年6月を予定。今回の結果を受け、今後1年間かけてアクションの実行およびその進捗確認をしていく予定

➤ 2017年3月期 方針と戦略

略歴

瀬戸 欣哉 (LIXILグループ 代表執行役 兼 COO / LIXIL 代表取締役社長 兼 CEO)

■ 学歴: ※6月の株主総会での承認後、LIXILグループの取締役代表執行役社長 兼 CEOに就任予定

- 東京大学 経済学部 卒業
- 米国 ダートマス大学タック経営大学院 修了 (MBA)
- 日本以外では米国と英国にて駐在経験あり
- 既婚 (子供:4人)
- 大学卒業後、住友商事株式会社に入社

■ 経歴:

- ✓ 起業の他にも大手企業における経営経験あり
- ✓ グローバル目線を持った強い起業家バックグラウンド
- ✓ 過去に(株)MonotaROやZoro(米国) など11社を設立
- ✓ (株)MonotaROは「リーマンショック以降高い成長率を遂げた企業ランキング」にて世界第9位、国内第1位 (日経ビジネス)
- ✓ (株)MonotaROとZoroを合わせると企業価値規模はLIXILとほぼ同等
- ✓ 2007年 “Entrepreneur of the Year” のジャパンファイナリストに選定
- ✓ 「10億ドル未満のアジアの優良企業創業者」アワードを受賞 (Forbes誌)



最初の100日間



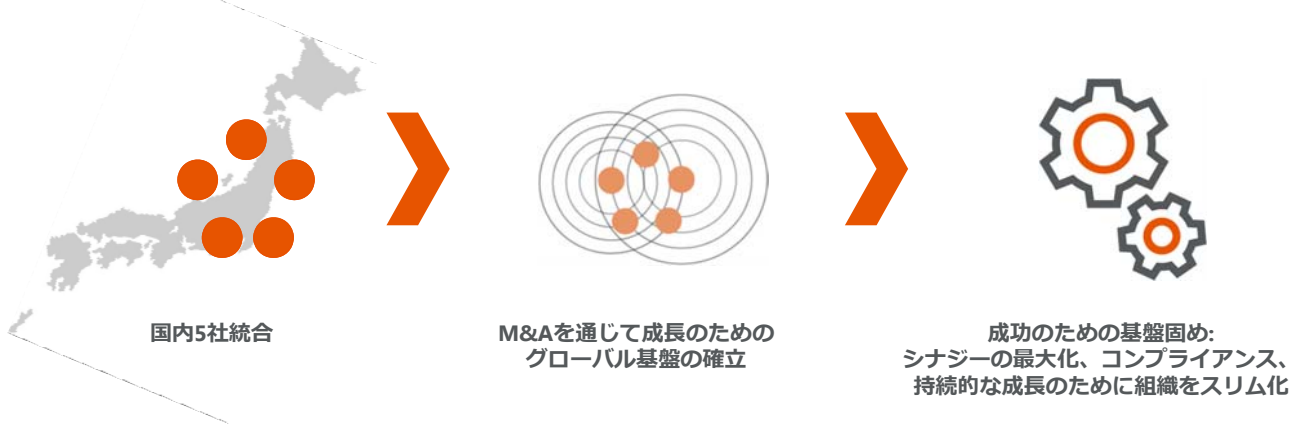
■ 優先課題や懸念点を理解するために「傾聴の旅」を実施し、国内外の従業員やその他主要ステークホルダーを訪問

- 10ヶ国のLIXILの拠点にて実施:
日本、アメリカ、イタリア、ドイツ、南アフリカ、中国、ベトナム、タイ、シンガポール、メキシコ
- 25以上の工場・拠点を訪問
- 600人以上の経営層・上級管理職と面談を実施、20回以上のタウンホールセッションを実施



傾聴の結果と優先課題

- LIXILの急速なグローバル化と変革の成功を確認



2017年3月期の重点項目:

- フラット・シンプル・意思決定の速い組織形成
- 長期かつ継続的に好業績を出すことの出来る価値を伴う成長基盤固め

国内の最優先課題

- 国内は現在においても最重要市場。商品優位性・高い品質により国内成長が可能。
- 成功のためにはメーカーならではの實力・能力を発揮することが必須

メーカーとして取り組むべき課題:

1. LIXIL製品がコモディティ化へ直面している現状
2. 特有の価値を求めるエンドユーザーや意思決定に最も影響を与える工事業者とのコミュニケーション不足によりLIXILの認知度が低いという現状
3. 商品のラインナップに一貫性がないため、お客様に真のLIXILの価値をご理解いただけていない現状



LIXILジャパンカンパニー: 優先課題

1. 簡単施工・施工時間短縮に重点を置くことでリフォーム売上成長を目指す
2. ブランド価値を訴求する強力な販売促進活動
3. 効率改善と変化する市場でニーズを確実にとらえる
4. リフォームフェア・ショールームの改善などユーザー接点の強化
5. ITシステム導入によりオペレーションコストを低減

グループ全体での優先課題

- LIXILグループ全体での経営効率の改善
 - 本社費用の低減
 - 財務体質の強化
- 新CIO (Chief Integration Officer) の元でPMI (買収後の統合プロセス) とシナジー効果の最大化
- ガバナンスや効率性改善のため組織のフラット化



フラット・シンプル・意思決定の速い組織、そしてコンプライアンスやガバナンスの効いた組織にするためにM&A後の統合を強化

2017年3月期 予想編成前提

今期よりIFRS完全移行

- ✓ 国内新築住宅着工 +1.8%、戸建着工 +5.7%



- ✓ 日本事業 新築 +1%
リフォーム +4% } +2%
タイムラグ調整

- ✓ 為替レート USD115円、EUR125円

- ✓ アルミ地金 USD200/トン

- ✓ 設備投資830億円、減価償却費650億円

- ✓ 前年度 事業売却影響 (上海美特カーテンウォール・建デポ・驪住建材(瀋陽))
売上△344億 事業利益 +48億

2017年3月期 全社業績予想 事業利益過去最高・当期純利益回復

単位：億円

	16/3期 速報実績 (IFRS)	17/3期予想 (IFRS)				
		上期	下期	通期	増減	%
売上高	18,905	9,050	9,750	18,800	-105	-1%
事業利益*1	701	305	425	730	29	4%
事業利益率	3.7%	3%	4%	4%	-	+0P
営業利益	-	245	315	560	-	-
営業利益率	-	3%	3%	3%	-	-
税前利益	-	200	310	510	-	-
当期純利益 *2	-	110	170	280	-	黒字化
EPS(円)	-	-	-	98	-	-
EBITDA*3	1,329	-	-	1,380	51	4%
EBITDA比率	7.0%	-	-	7%	-	+0P
ROE	-	-	-	5%	-	-
自己資本比率	-	-	-	25%	-	-

事業売却影響 △344
為替影響 △290
実質成長 +3%

マーケティング費用等成長投資、
IT費用増等 コスト競争力投資
など政策的販管費増130億組み込む

- (1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する当期利益
(3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費

LIXIL

27

▶ テクノロジービジネスの戦略上の優先課題 (今期よりIFRSへ移行)

LWT 業績

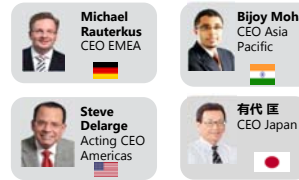
4月-3月
億円

	16/3期	17/3期	(現地通貨 ベース増減)
アメリカ	1,392	+3%	(+5%)
欧州、中東、 アフリカ地域	1,538	-2%	(+5%)
アジア太平洋地域	887	+3%	(+9%)
日本	2,681	-1%	(-1%)
連結調整	-16		
LWT	6,377	6,300	(+3%)

LWT	521	545	+5%
事業利益率	8%	9%	



リージョン



LIXILグループ
とLWTで兼任

グローバルファンクション



*地域別はマネージメントベース、合計は制度連結会計ベース
為替レート：16/3期1USD=120円、1EUR=132円、17/3期1USD=115円、1EUR=125円

LIXIL Water Technology (LWT) : 優先課題

1 ASB 再び栄光へ

- 今後のLIXILにおいて北米は主要マーケット
- 新商品投入・再注力によりASBの回復
 - メキシコ工場の品質・生産性改善
 - 日本から北米への技術展開

4 北米と日本で水栓金具事業を拡大

- 北米と日本で水栓金具ビジネスの販売拡大・強化
- GROHE、ASB、LIXIL/INAXの強みを活かした事業展開
- 日米で幅広いより多くの新商品を投入

2 ヨーロッパへ GROHEセラミック (衛生陶器)の投入

- 現時点で衛生陶器を展開していない地域はヨーロッパのみ
- ヨーロッパでの衛生陶器展開のための強固なサプライチェーン確立は2017年3月期の優先課題

5 デジタル

- 我々のブランド・製品を確固たるものにするため、新興国を中心にデジタル基盤やe-commerceを最大限に利用
- デジタルはLWTのみならず全てのビジネスにおいて重要性が高い

3 シャワートイレのグローバル展開

- 日本の専門技術とノウハウを展開
- ブランドごとに差別化したデザインと機能性において優位な地位の確立
- 海外の販路とブランドの強みを生かしてローカルブランドのシャワートイレを展開

6 中国・インド

- ASB、GROHE、INAXの主要3ブランドが既に事業展開している大きな市場は中国のみ
- インドは今後のLWTにとって成長が早く最も魅力的な市場の一つ
- インドは我々が社会貢献出来る市場



LIXIL Housing Technology (LHT)

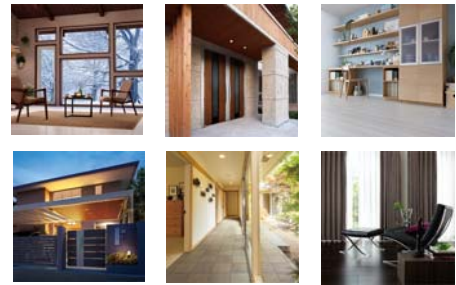
4月-3月
億円

	16/3期	17/3期
* 事業本部別売上		
ウィンドウシステム 事業本部 (WS)	2,123	+2%
エクステリアシステム 事業本部 (ES)	1,567	+2%
リビングシステム 事業本部 (LS)	1,436	-0%
海外事業本部	205	-6%
子会社・連結消去等	715	
LHT	6,046	+1% → 6,080

優先課題:

- 生産性改善
- 高性能ハイブリッド窓(アルミ樹脂複合サッシ)へ注力
- 樹脂サッシのシェア拡大
- 簡単施工・施工時間短縮に重点を置いたリフォーム向け新商品開発

事業利益	LHT	403	+8% → 435
	事業利益率	7%	7%



LIXIL

*事業本部別はマネージメントベース、合計は制度連結会計ベース

31

LIXIL Building Technology (LBT)

4月-3月
億円

	16/3期	17/3期
* 会社別売上		
ペルマ	2,090	+2%
LBT Japan	1,125	-4%
LBT Asia	234	-78% ※1
LBT	3,320	-4% → 3,190

ペルマスティリーザはプロジェクトの実績や品質においてトップレベル

優先課題:

- 現在の重点項目は利益率の管理とキャッシュマネジメントの改善
- 主力以外の事業の整理 (例: 2016年3月に上海美特カーテンウォールを売却)
- LBTの主力であるペルマスティリーザの利益率・キャッシュフローの管理

事業利益	ペルマ	-26 ※2	黒字化
	LBT	-56	黒字化 → 85 ※1
	事業利益率	赤字	3%

※1 上海美特 16/3期IFRS実績: 売上184億、事業利益-43億
※2 引当影響 31億

LIXIL

*会社別はマネージメントベース、合計は制度連結会計ベース
為替レート: 16/3期1USD=120円、1EUR=132円、17/3期1USD=115円、1EUR=125円

32

LIXIL Kitchen Technology (LKT)

4月-3月
億円

		16/3期		17/3期
* 地域別売上	LKT Japan	1,041		2%
	LKT Asia	80		6%
	LKT	1,121	+2%	1,140
事業利益	LKT	18	+14%	20
	事業利益率	2%		2%

優先課題:

- キッチンリフォーム戦略の鍵
ショールームにおける最重要製品
- 国内利益率改善に注力
 - 深谷工場で2014年2月に被った雪害被害からの復旧・オペレーション改善
 - 工場管理強化、生産性改善を継続
- 中国・ハイアールとの合併企業の利益率やビジネスモデルの改善



LIXIL

*地域別はマネージメントベース、合計は制度連結会計ベース

33

D&R and H&S

4月-3月
億円

		16/3期	対前年成長	17/3期
D & R ※	売上	1,688	+2%	1,730
	事業利益	73	+3%	75
	事業利益率	4%		4%
※建デポを除くベース				
H & S	売上	637	+7%	680
	事業利益	43	+29%	55
	事業利益率	7%		8%

優先課題:

D&R

- 売上：12年連続増収、事業利益:過去最高益、事業利益率:業界トップ
 - リフォーム事業の強化
 - 17年4月の消費税増税先送り時の対応

H&S

- 総合住生活サービス事業体の形成による成長体制の確立
 - 行政方針に連動したストック住宅サービス拡充
 - 生活者接点・BtoCサービスの拡大



スーパービバホーム 和泉中央店
2016年2月オープン



アイフルホームの主力商品
「センボ」

LIXIL

34

ご参考

2016年3月期 マネジメントKPI達成度

単位：億円

部門	売上高	前年比 (%)	事業利益			計画差
			前年比 (%)	前年比 (%)	計画差	
LWT	6,482	12%	628	10%	12%	37
LHT	5,975	-2%	426	7%	20%	18
LBT	3,445	-3%	-46	-1%	赤字化	-186
LKT	1,127	-1%	28	2%	黒字化	3
D&R ※	1,727	3%	103	6%	7%	3
H&S	630	2%	35	6%	-24%	-8
HQ及び連結調整 ※	-201	-	-364	-	-	-17
マネージメントベース合計 ⁽¹⁾	19,185	3%	809	4%	-2%	-151
為替レートリスク&PPA ⁽²⁾	-281	-	-108	-	-	2
制度連結実績 (IFRS) ⁽³⁾	18,905	-	701	4%	-	-149

(1) 取引レート 1\$=125円、1€=140円

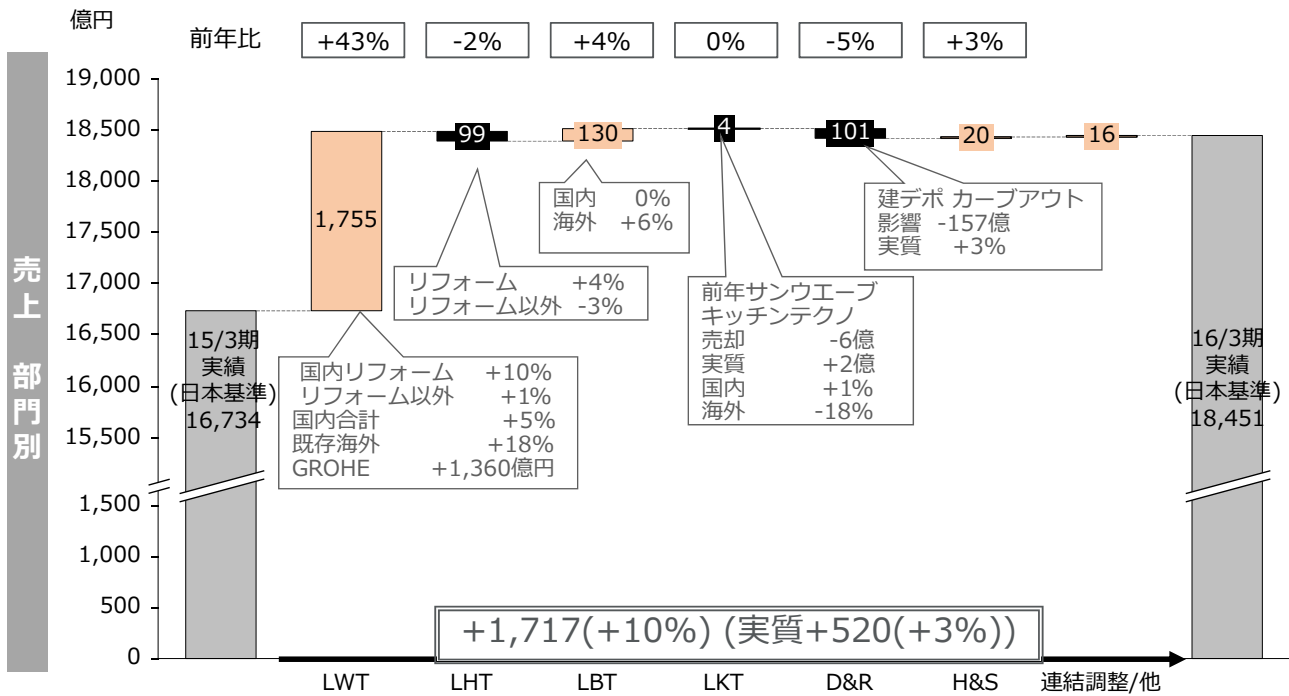
(2) PPA：取得原価配分，実績レート 1\$=120円、1€=132円

(3) 速報値

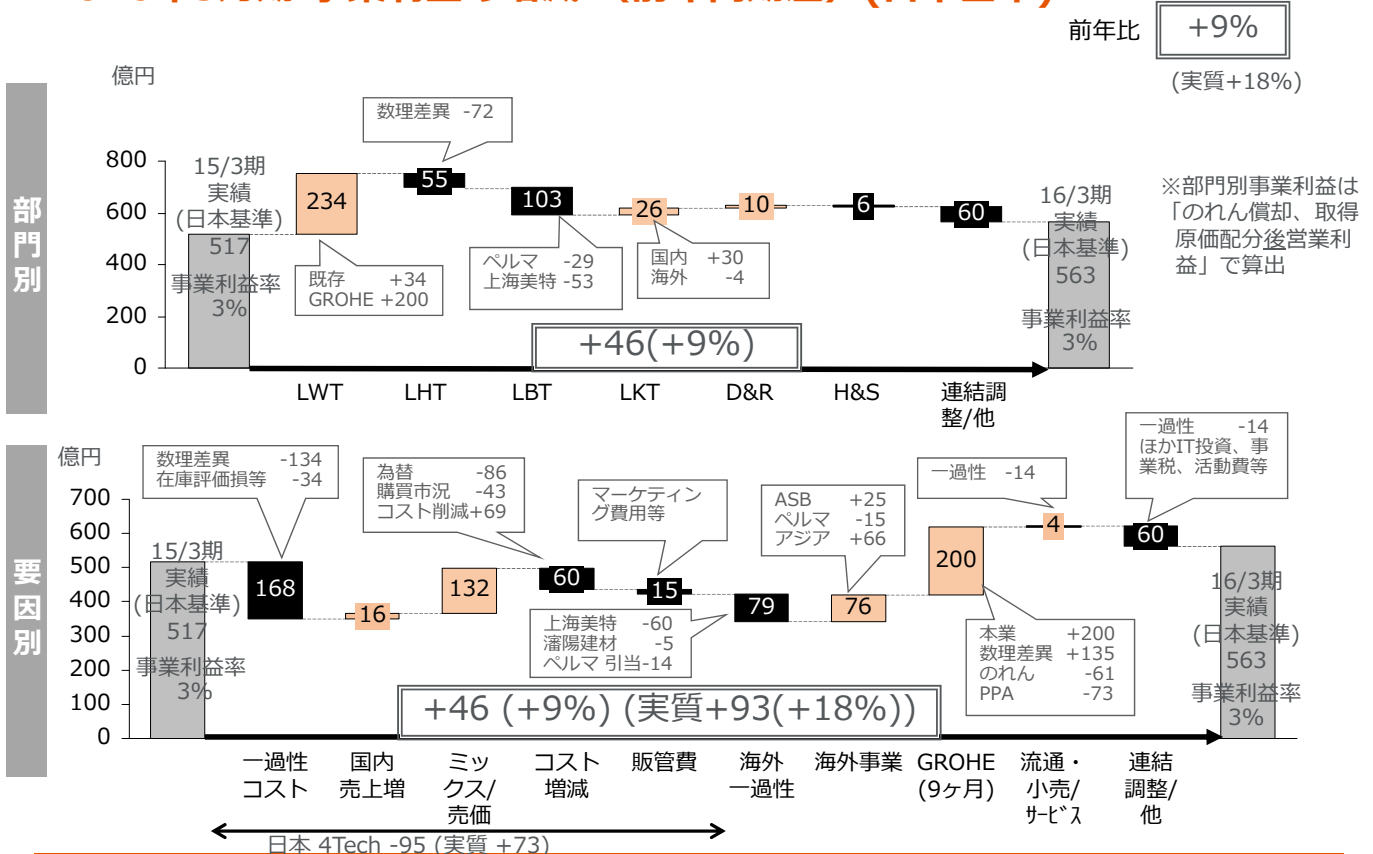
※ 建デボ通期実績を除く

2016年3月期 売上の増減 (前年同期差) (日本基準)

海外順調に成長・国内も回復へ



2016年3月期 事業利益の増減 (前年同期差) (日本基準)



2016年3月期 特別損益（日本基準）

単位：億円

科目	15/3期 通期実績	16/3期 通期実績	増減額	内容	IFRS項目
投資有価証券売却益	111	3	-107		金融収益及びその他の金融費用
持分変動利益	11	-	-11		持分法による投資利益
関係会社売却益	6	29	23	今期：ガスター等	金融収益及びその他の金融費用
固定資産売却益 他	7	75	68	今期：遊休地売却	その他の収益
特別利益	134	107	-28		
減損損失	39	57	18	今期：工場、外装事業、LKTのれん	その他の費用
工場再編関連損失	17	32	15	前期：中国工場、 今期：国内工場ライン閉鎖、LWT・LBT海外工場再編	その他の費用
関係会社投資関連損失	91	279	189	今期：債務保証損失に対する貸倒引当金	関係会社投資関連損失
関係会社株式売却損	2	66	64	今期：上海美特など	金融収益及びその他の金融費用
段階取得差損	-	63	63	GROHE連結子会社化 (為替レート差 141円→129円)	金融費用
固定資産除売却損 他	34	62	27		その他の費用 他
特別損失	183	559	376		

LIXIL

39

連結財務状態（日本基準）

単位：億円

	15/3月末	GROHE 連結の影	GROHE 連結後期首	16/3月末	実質 増減額	うち事業 売却影響
現 預 金	2,573	-124	2,448	1,518	-930	-64
売 掛 債 権	4,439	287	4,726	4,128	-598	-206
棚 卸 資 産	2,276	307	2,583	2,201	-382	-102
有形・無形固定資	6,495	3,982	10,477	10,283	-194	-60
そ の 他	2,970	-668	2,302	2,478	176	138
総 資 産	18,752	3,784	22,537	20,609	-1,928	-294
買 掛 債 務	2,330	231	2,560	2,342	-218	-158
有 利 子 負 債	6,760	1,443	8,203	6,802	-1,401	-3
そ の 他	3,526	1,422	4,948	5,089	141	-119
負 債 合 計	12,616	3,096	15,712	14,234	-1,478	-280
自 己 株 式	-562	-	-562	-548	14	-
そ の 他	6,699	688	7,387	6,923	-463	-14
純 資 産	6,137	688	6,825	6,375	-449	-14

自己資本比率(%)	32.1	26.3	26.4	+0.1P
一株当たり純資産	2,104.27	2,069.95	1,894.55	-175.40
期末株式数(千株)	286,352	286,352	287,007	+655
ROE(%)	3.7		-3.3	-7.0P
ROA(%)	1.2		-0.9	-2.1P

LIXIL

40

キャッシュ・フロー（日本基準）

単位：億円

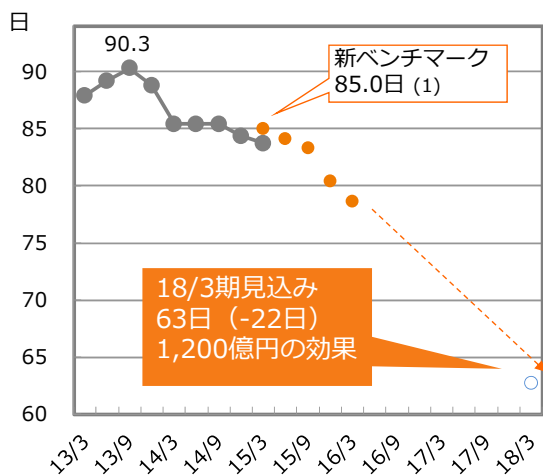
	15/3期末	16/3期末	増減額
税金等調整前当期純利益	530	32	-498
減価償却費	507	605	97
法人税等支払	-212	-228	-17
運転資本	522	535	13
その他	42	427	386
営業キャッシュフロー	1,389	1,370	-19
投資キャッシュフロー	-1,292	165	1,458
（うち有形・無形資産取得支出）	-626	-680	-54
フリーキャッシュフロー	97	1,536	1,439
財務キャッシュフロー	100	-1,718	-1,818
：	：	：	：
現金及び現金同等物の期末残高	1,604	1,388	-216

CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)改善のグローバル展開

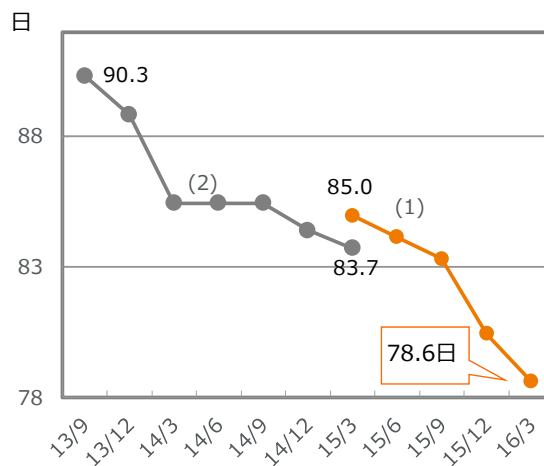
- 国内中心で行ってきたCCC改善活動をグローバル展開し、改善効果を上積みする

18/3期末目標 1,200億円⁽¹⁾

- 新ベンチマークと18/3期末までの見込み



- 16/3期実績



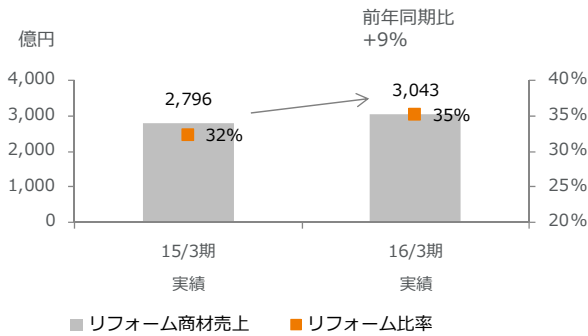
(1) 15年9月 中期経営戦略“Redefine the Future”にて発表（グローバル施策込み）、プロジェクトビジネスを除く
 (2) 国内活動のみの効果

国内リフォーム戦略の進捗

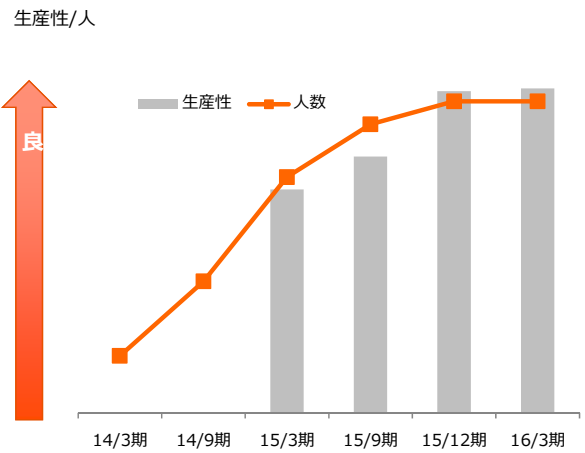
リフォーム商材売上(LJC)

億円	14/3期 実績	15/3期 実績	前年 同期比	16/3期 実績	前年 同期比
リフォーム 商材売上	2,826	2,796	-1%	3,043	9%
リフォーム 比率	31%	32%	+1P	35%	+3P

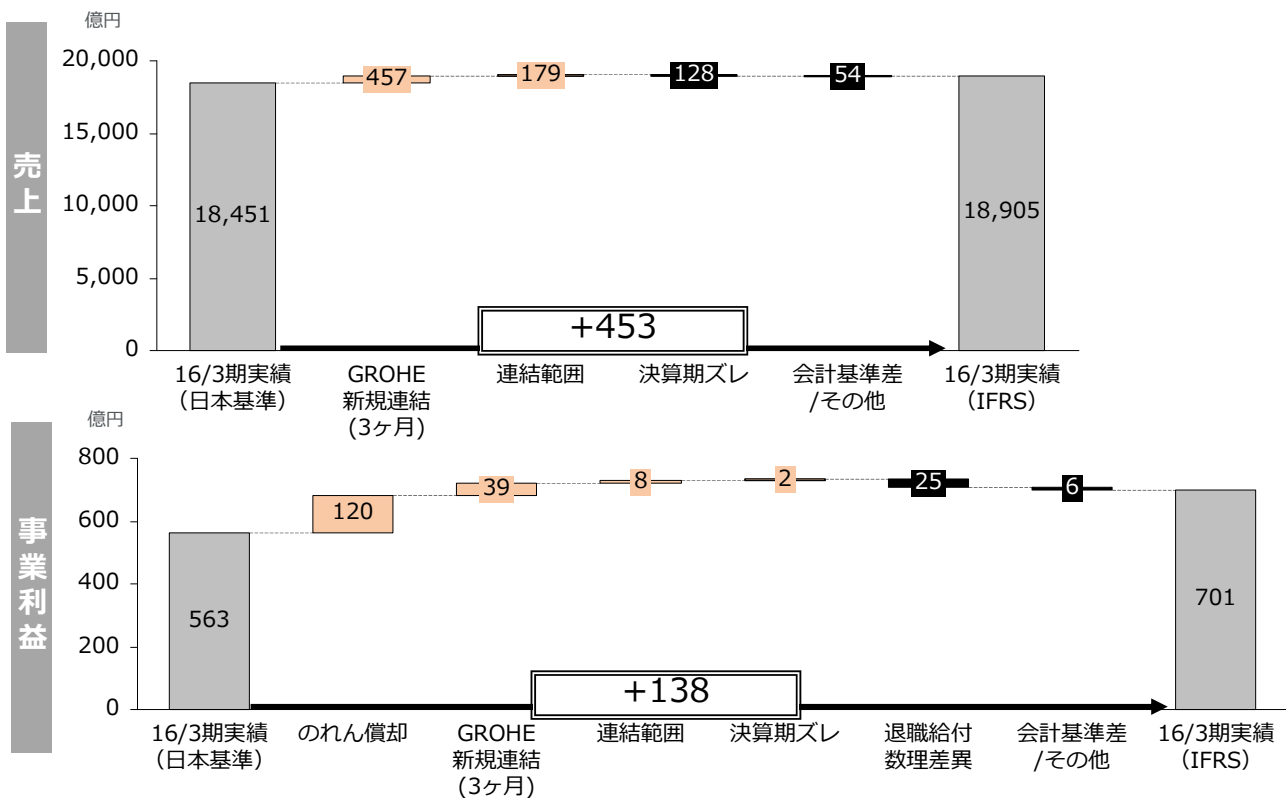
キッチン含む水回りリフォーム：前年同期比+10%



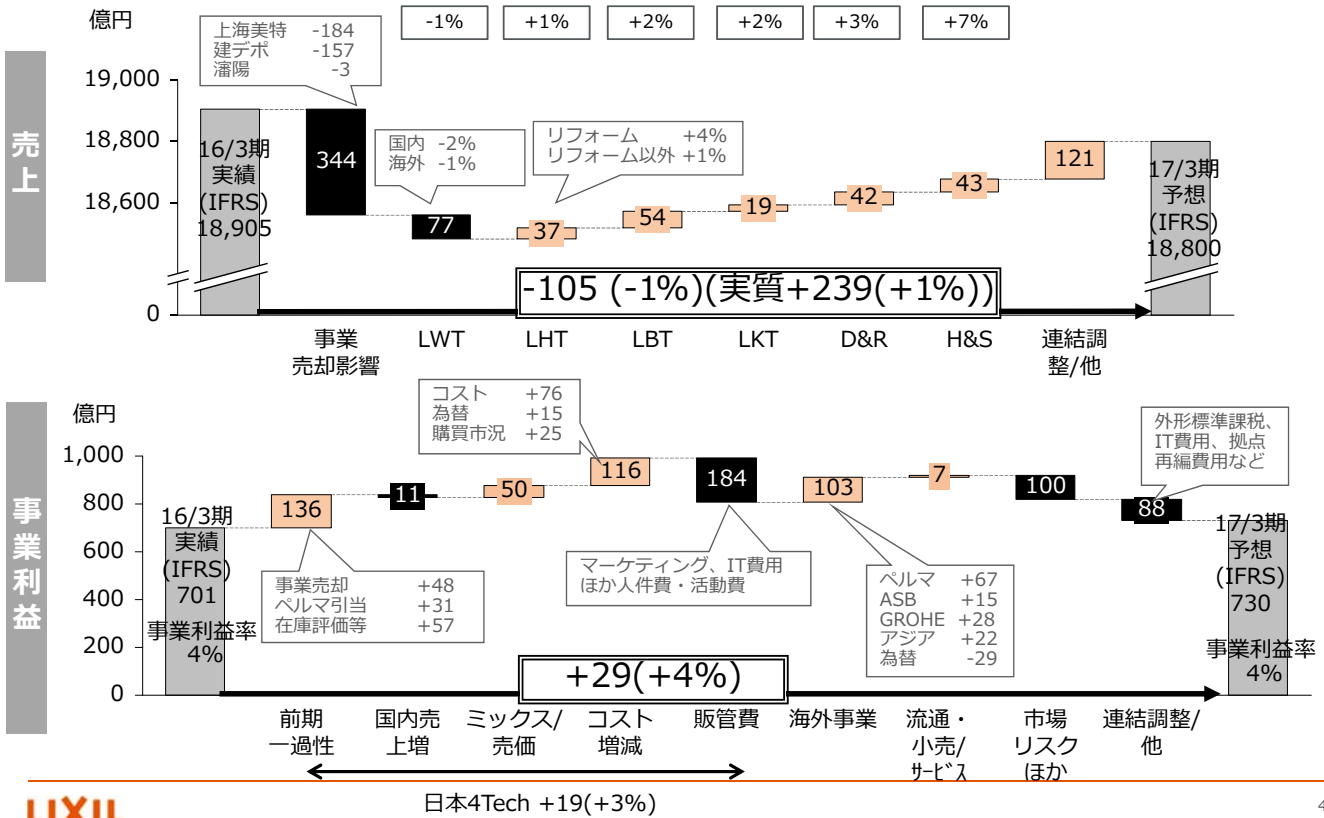
専任セールスと生産性の推移



2016年3月期 日本基準からIFRSへの調整



2017年3月期予想 売上・事業利益の増減（前年同期差）（IFRS）



新コーポレート・レスポンスビリティ戦略を設定

CRミッション

世界中で革新的かつ責任ある活動を通して生活の質向上に貢献することで、最も信頼される企業となる

グローバルな衛生課題の解決



人びと、特に女性や女兒が、安全な衛生施設を利用できるようにすると同時に、子どもにとって危険な病気感染を防ぐ

水の保全と環境保護



調達から生産、流通、製品の使用・廃棄やサービスの利用に至るまで、全てのプロセスにおいて、水、エネルギー、およびその他の天然資源の保全に努める

多様性の尊重



社内外の人びとの多様性を尊重する
 i) 製品やサービスなどを通じて、高齢者や身体障がい者の生活の質の向上に貢献する
 ii) 多様な従業員の英知や視点を活かし、成長とイノベーションの原動力とする

重要課題・目標

- 2020年までに1億人の人々の衛生環境を改善し、住生活の向上につなげる。
- 2030年までに製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ」を実現する。

LIXILグループ「人権方針」を制定

新たに制定した「LIXILグループ人権方針」は、グループ共通のポリシーとして、人権尊重へのコミットメントを明示。グループに属する連結各社の全従業員と役員に適用する。

LIXILグループ 人権方針 (要旨)

- **人権尊重へのコミットメント**：人権を尊重し、その維持・普及に努めます
- **人権尊重の推進アプローチ**：国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づきます
- **お客さまの人権の尊重**：LIXIL グループは、製品の品質と安全を最優先します
- **職場での人権の尊重**：お互いを尊重するオープンで誠実なコミュニケーションを促進します
- **ビジネスパートナーの人権の尊重**：調達先と販売先をはじめとしたビジネスパートナーとの関係において人権尊重を重視します
- **デュー・ディリジェンス**：人権デュー・ディリジェンス・プロセスを通じて、人権への負の影響を特定し、その防止または軽減に努めます
- **是正**：人権に対する負の影響に対し是正に取り組みます
- **教育・浸透**：本方針が社内外に浸透するよう適切な教育と研修を行っていきます
- **エンゲージメント**：人権課題について、ステークホルダーとの対話に努めます
- **報告**：人権尊重の取り組みについて、進捗をお知らせしていきます

2016年3月期 決算<添付資料>

*本添付資料における『事業利益』は、日本基準(JGAAP)における『営業利益』と同等

**本添付資料における『四半期/当期純利(損)益』は、

『親会社株主に帰属する四半期/当期純利(損)益』(JGAAP)あるいは
『親会社の所有者に帰属する当期利(損)益』(IFRS)を表しています

1.	2015年3月期・2016年3月期上下実績と2017年3月期上下予想	P.1
2.	日本基準四半期ベース	P.2
3.	IFRS四半期ベース	P.4
4.	セグメント別状況① テクノロジー事業(日本基準・IFRS) (LWT/LHT/LBT/LKT)	P.6
5.	セグメント別状況② 流通・小売り事業の状況(日本基準)	P.7
6.	セグメント別状況③ 住宅・サービス事業の状況(日本基準)	P.8
7.	商品・サービス別売上状況	P.9
8.	リフォーム	P.10
9.	海外生産比率・海外売上	P.11
10.	ペルマスティリーザ・ASB・GROHE	P.12
11.	のれん	P.13
12.	近年実施したM&A、資本業務提携一覧	P.13
13.	IFRS/JGAAPの主要な会計処理相違点	P.14
14.	IFRS/JGAAP段階利益	P.14

2016年5月9日



株式会社 LIXILグループ

※この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

1. 2015年3月期・2016年3月期上下実績と2017年3月期上下予想

(1) 日本基準

	15/3期						16/3期					
	上期		下期		通期		上期		下期		通期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	7,962	7.4%	8,772	-1.1%	16,734	2.7%	8,774	10.2%	9,677	10.3%	18,451	10.3%
売上総利益	2,162	4.8%	2,311	-4.3%	4,473	-0.1%	2,505	15.8%	2,730	18.1%	5,235	17.0%
販売管理費	2,029	12.5%	1,927	-2.8%	3,956	4.5%	2,184	7.6%	2,488	29.1%	4,672	18.1%
事業利益*1	133	-48.8%	384	-11.0%	517	-25.2%	320	141.2%	242	-36.9%	563	8.9%
事業利益率	1.7%	-1.8P	4.4%	-0.5P	3.1%	-1.2P	3.7%	+2.0P	2.5%	-0.6P	3.0%	-0.0P
税前当期純利(損)益	136	-49.2%	394	76.3%	530	8.0%	-130	-195.4%	161	-59.0%	32	-94.0%
当期純利(損)益	34	-80.8%	186	485.9%	220	5.1%	-229	-769.9%	42	-77.3%	-187	-184.8%

(2) IFRS

	16/3期(速報値)						17/3期					
	上期		下期		通期		上期		下期		通期	
	実績 (ご参考)	前年同期比	実績 (ご参考)	前年同期比	実績 (ご参考)	前年同期比	予想	前年同期比	予想	前年同期比	予想	前年同期比
売上高	9,424		9,481		18,905	10.8%	9,050	-4%	9,750	3%	18,800	-1%
売上総利益	2,722		2,685		5,406	18.8%	2,740	1%	3,000	12%	5,740	6%
販売管理費	2,320		2,385		4,706	16.6%	2,435	5%	2,575	8%	5,010	6%
事業利益*1	401		299		701	35.5%	305	-24%	425	42%	730	4%
事業利益率	4.3%		3.2%		3.7%	+0.7P	3%	-0P	4%	+0P	4%	+0P
営業利益	327		-		-	-	245	-25%	315	-	560	-
税前当期純利(損)益	-256		-		-	-	200	黒字化	310	-	510	-
当期純利(損)益	-248		-		-	-	110	黒字化	170	-	280	黒字化

*1 日本基準では従来の「営業利益」、IFRSでは「売上-売上原価-販管費」(日本基準の営業利益に相当)

<補足> 為替と原材料価格の実績と前提

	15/3期 実績(JGAAP)	15/3期 実績(IFRS)	16/3期 実績(JGAAP)	16/3期 実績(IFRS)	17/3期 前提(IFRS)
米ドル	110.03円	110.03円	120.16円	120.16円	115円
ユーロ	140.71円	138.68円	134.68円	132.36円	125円
タイバーツ	3.35円	3.39円	3.44円	3.44円	3.14円
中国人民幣元	17.26円	17.74円	19.21円	18.88円	17.69円

	15/3期 実績	16/3期 実績	17/3期 前提
アルミ価格(購入ベース)	24万円/トン	25万円/トン	22万円/トン
銅価格	59万円/トン	56万円/トン	59万円/トン

2. 日本基準四半期ベース (15/3期 セグメント実績を修正しています)

(億円)

		15/3期 上期 (6ヶ月)												15/3期 下期 (6ヶ月)						15/3期 通期					
		15/3期 1Q				15/3期 2Q				15/3期 3Q				15/3期 4Q				15/3期 通期		15/3期 通期		15/3期 通期			
		国内	海外	計		国内	海外	計		国内	海外	計		国内	海外	計		国内	海外	計		国内	海外	計	
LWT	売上	600	332	933	656	364	1,020	1,257	697	1,953	682	381	1,063	655	438	1,093	1,337	819	2,156	10.4%	2,594	1,515	4,109	23.5%	
	事業利益	34	12	47	44	12	56	78	25	102	77	9	87	70	32	102	148	41	189	84.4%	226	66	291	2.2%	
LHT	売上	1,438	11	1,449	1,490	14	1,503	2,928	25	2,952	1,510	14	1,524	1,475	16	1,491	2,985	29	3,015	2.1%	5,913	54	5,967	-5.7%	
	事業利益	87	-5	82	95	-7	88	181	-12	169	133	-4	129	74	-4	70	207	-8	199	17.4%	388	-20	368	-27.0%	
LBT	売上	172	460	632	302	527	830	474	987	1,461	254	523	777	422	678	1,100	676	1,201	21.6%	1,876	1,150	2,188	3.9%		
	事業利益	-13	-1	-14	10	13	22	-3	12	8	9	17	26	44	19	63	53	36	89	944.6%	50	47	97	48.4%	
LKT	売上	238	17	255	252	24	276	490	41	531	270	24	294	267	38	306	538	62	600	13.1%	1,027	104	1,131	-4.1%	
	事業利益	-16	-1	-17	-9	1	-9	-26	0	-26	9	1	10	4	2	5	13	3	16	黒字化	-13	3	-10	赤字化	
D&R	売上	494		494	485		485	979		979	545		545	464		464	1,009		1,009	3.1%	1,988		1,988	2.0%	
	事業利益	22		22	13		13	35		35	30		30	6		6	36		36	1.5%	71		71	54.7%	
H&S	売上	141		141	152		152	293		293	148		148	155		155	303		303	3.3%	596		596	-8.2%	
	事業利益	12		12	9		9	21		21	12		12	9		9	21		21	-0.8%	42		42	-31.6%	
連結調整・のれん・他	売上			-88			-120			-207			-104		-83					6.9%	-187		-394		
事業利益			-83				-95			-178			-85		-80					-0.3%	-165		-343		
LIXILグループ	売上	3,082	820	3,815	3,337	929	4,147	6,420	1,750	7,962	3,409	942	4,246	3,439	1,170	4,526	6,848	2,111	8,772	10.2%	13,267	3,861	16,734	2.7%	
	事業利益	125	6	131	161	18	179	286	24	313	270	24	294	207	48	255	477	72	384	189.0%	763	96	959	-25.2%	

(億円)

2015年3月期

3. IFRS四半期ベース (16/3期は速報値)

(億円)

		15/3期 通期実績			16/3期 通期実績 (速報)						17/3期 通期予想						
		国内		海外	国内		海外		計	国内		海外		計			
			%			%		%			%		%		%		
通期	LWT	売上	2,622	1,524	4,146	2,748	4.8%	3,629	138.1%	6,377	53.8%	2,700	-2%	3,600	-1%	6,300	-1%
		事業利益	208	53	260	236	13.6%	285	440.4%	521	99.9%	210	-11%	335	18%	545	5%
		%	7.9%	3.5%	6.3%	8.6%	+0.7P	7.8%	+4.4P	8.2%	+1.9P	8%	-1P	9%	+1P	9%	+0P
	LHT	売上	6,047	113	6,160	5,918	-2.1%	129	14.1%	6,046	-1.8%	5,960	1%	120	-7%	6,080	1%
		事業利益	369	-21	347	383	4.0%	20	黒字化	403	16.1%	430	12%	5	-77%	435	8%
		%	6.1%	-	5.6%	6.5%	+0.4P	15.3%	+34.2P	6.7%	+1.0P	7%	+1P	4%	-12P	7%	+0P
	LBT	売上	1,179	2,303	3,482	1,157	-1.9%	2,162	-6.1%	3,320	-4.7%	1,080	-7%	2,110	-2%	3,190	-4%
		事業利益	47	11	57	36	-22.3%	-93	赤字化	-56	赤字化	35	-4%	50	-154%	85	-251%
		%	4.0%	0.5%	1.7%	3.1%	-0.8P	-	-4.7P	-	-3.3P	3%	+0P	2%	+7P	3%	+4P
	LKT	売上	1,045	105	1,150	1,040	-0.4%	80	-23.8%	1,121	-2.5%	1,060	2%	80	0%	1,140	2%
事業利益		-17	2	-15	20	黒字化	-3	-	18	黒字化	20	-1%	0	黒字化	20	14%	
%		-	1.8%	-	2.0%	+3.6P	-	-5.3P	1.6%	+2.9P	2%	-0P	-	+3P	2%	+0P	
D&R	売上	1,944	-	1,944	1,845	-5.1%	-	-	1,845	-5.1%	1,730	-6%	-	-	1,730	-6%	
	事業利益	65	-	65	72	10.1%	-	-	72	10.1%	75	5%	-	-	75	5%	
	%	3.4%	-	3.4%	3.9%	+0.5P	-	-	3.9%	+0.5P	4%	+0P	-	-	4%	+0P	
H&S	売上	623	-	623	637	2.3%	-	-	637	2.3%	680	7%	-	-	680	7%	
	事業利益	45	-	45	43	-4.5%	-	-	43	-4.5%	55	29%	-	-	55	29%	
	%	7.2%	-	7.2%	6.7%	-0.5P	-	-	6.7%	-0.5P	8%	+1P	-	-	8%	+1P	
連結調整・他	売上	-	-	-451	-	-	-	-	-442	-	-	-	-	-	-320	-	
	事業利益	-	-	-243	-	-	-	-	-299	-	-	-	-	-	-485	-	
LIXIL グループ	売上	13,460	4,045	17,054	13,346	-0.8%	6,000	48.3%	18,905	10.8%	13,210	-1%	5,910	-2%	18,800	-1%	
	事業利益	716	44	517	791	10.4%	209	377.5%	701	35.5%	825	4%	390	87%	730	4%	
	%	5.3%	1.1%	3.0%	5.9%	+0.6P	3.5%	+2.4P	3.7%	+0.7P	6%	+0P	7%	+3P	4%	+0P	

(億円)

		16/3期 上期 (6ヶ月) (ご参考)									
		16/3期 1Q (ご参考)					16/3期 2Q (ご参考)				
		国内		海外	計	国内		海外	計	国内	
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2016年3月期	LWT	売上	633	930	1,563	691	905	1,596	1,324	1,835	3,159
		事業利益	56	45	101	69	81	149	125	125	250
		%	8.9%	4.8%	6.4%	9.9%	8.9%	9.4%	9.4%	6.8%	7.9%
	LHT	売上	1,412	31	1,442	1,485	32	1,516	2,896	62	2,959
		事業利益	106	3	109	105	5	110	211	8	219
		%	7.5%	11.2%	7.6%	7.1%	15.2%	7.3%	7.3%	13.2%	7.4%
	LBT	売上	241	539	780	331	582	913	572	1,121	1,693
		事業利益	-12	-15	-27	26	5	31	13	-10	3
		%	-	-	-	7.9%	0.8%	3.4%	2.4%	-	0.2%
	LKT	売上	233	22	255	257	24	281	491	46	537
事業利益		5	-2	3	2	1	2	6	-2	5	
%		2.0%	-	1.1%	0.6%	2.4%	0.8%	1.3%	-	0.9%	
D&R	売上	506	-	506	482	-	482	987	-	987	
	事業利益	27	-	27	18	-	18	46	-	46	
	%	5.4%	-	5.4%	3.8%	-	3.8%	4.6%	-	4.6%	
H&S	売上	153	-	153	159	-	159	312	-	312	
	事業利益	13	-	13	13	-	13	26	-	26	
	%	8.4%	-	8.4%	8.4%	-	8.4%	8.4%	-	8.4%	
連結調整・他	売上	-	-	-100	-	-	-122	-	-	-222	
	事業利益	-	-	-74	-	-	-74	-	-	-148	
LIXIL グループ	売上	3,177	1,521	4,599	3,404	1,543	4,825	6,582	3,064	9,424	
	事業利益	195	31	152	233	91	250	428	122	401	
	%	6.1%	2.0%	3.3%	6.8%	5.9%	5.2%	6.5%	4.0%	4.3%	

(億円)

2016年3月期		16/3期 下期 (6ヶ月) (ご参考)											
		16/3期 3Q (ご参考)			16/3期 4Q (ご参考)								
		国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
LWT	売上	743	927	1,670	681	867	1,548	1,424	1,794	3,218			
	事業利益	85	114	199	26	45	71	111	159	271			
	%	11.5%	12.3%	11.9%	3.8%	5.2%	4.6%	7.8%	8.9%	8.4%			
LHT	売上	1,556	31	1,587	1,465	36	1,501	3,021	67	3,088			
	事業利益	135	-4	130	38	16	53	172	11	184			
	%	8.7%	-	8.2%	2.6%	43.7%	3.5%	5.7%	17.2%	6.0%			
LBT	売上	309	616	925	276	426	702	586	1,041	1,627			
	事業利益	6	-30	-24	17	-52	-35	23	-82	-59			
	%	1.8%	-	-	6.3%	-	-	3.9%	-	-			
LKT	売上	278	19	297	272	16	287	549	35	584			
	事業利益	15	0	15	-1	-2	-2	14	-1	13			
	%	5.3%	1.3%	5.0%	-	-	-	2.5%	-	2.2%			
D&R	売上	456		456	401		401	857		857			
	事業利益	33		33	-7		-7	26		26			
	%	7.2%		7.2%	-		-	3.0%		3.0%			
H&S	売上	160		160	166		166	326		326			
	事業利益	6		6	11		11	16		16			
	%	3.6%		3.6%	6.3%		6.3%	5.0%		5.0%			
連結調整・他	売上			-111			-109			-220			
	事業利益			-87			-64			-151			
LIXIL グループ	売上	3,503	1,592	4,984	3,261	1,344	4,496	6,764	2,936	9,481			
	事業利益	279	80	273	84	7	27	363	87	299			
	%	8.0%	5.0%	5.5%	2.6%	0.5%	0.6%	5.4%	3.0%	3.2%			

* 買取に伴う「PPA (取得原価配分費用)」は各セグメント事業に配賦しています。

* この資料での国内・海外の売上高および事業利益は、内部消去後の「国内法人」「海外法人」の合計としています。ただし、売上の大半が㈱LIXIL向けとなる海外生産工場の法人は国内に含めています。

(億円)

	16/3期 1Q			16/3期 2Q			16/3期 3Q			16/3期 4Q		
	売上	事業利益	事業利益率	売上	事業利益	事業利益率	売上	事業利益	事業利益率	売上	事業利益	事業利益率
国内テクノロジー事業 小計	2,519	154	6.1%	2,764	201	7.3%	2,887	240	8.3%	2,694	80	3.0%
リフォーム	720			768			842			712		
リフォーム以外/セグメント間取引	1,799			1,996			2,045			1,982		
海外住宅設備関連事業 小計	983	46	4.7%	960	86	9.0%	976	110	11.3%	918	59	6.5%

4. セグメント別状況① テクノロジー事業 (日本基準・IFRS)

(単位：億円)

		ウォーター テクノロジー	ハウジング テクノロジー	ビルディング テクノロジー	キッチン テクノロジー	テクノロジー事 業計
16/3期	売上	5,864	5,868	3,468	1,127	16,326
	国内	2,710	5,811	1,145	1,042	10,709
	海外	3,153	57	2,323	85	5,618
	のれん償却	71	9	32	5	117
	PPA ^{*1} 償却	22	-	18	-	40
	のれん・PPA償却前利益	599	313	-14	14	912
	(日本基準) (%)	10%	5%	0%	1%	6%
事業利益 (IFRS) (ご参考)		521	403	-56	18	885
15/3期	売上	4,109	5,967	3,338	1,131	14,544
	国内	2,594	5,913	1,150	1,027	10,683
	海外	1,515	54	2,188	104	3,861
	のれん償却	13	9	35	7	64
	PPA ^{*1} 償却	6	-	23	-	30
	のれん・PPA償却前利益	291	368	97	-10	746
	(日本基準) (%)	7%	6%	3%	-1%	5%
事業利益 (IFRS) (ご参考)		260	347	57	-15	650

■ 売上高増減内訳

(単位：億円)

		ウォーター テクノロジー	ハウジング テクノロジー	ビルディング テクノロジー	キッチン テクノロジー	テクノロジー事 業計
実質売上高増減	(%)	394	-99	130	2	428
	国内	117	-102	-4	21	32
	海外	278	3	135	-19	396
新規連結 ^{*2}		1,360	-	-	-	1,360
連結除外 ^{*3}		-	-	-	-6	-6

■ 事業利益増減内訳

(単位：億円)

		ウォーター テクノロジー	ハウジング テクノロジー	ビルディング テクノロジー	キッチン テクノロジー	テクノロジー事 業計
実質事業利益増減		108	-55	-111	24	-35
売上総利益計		152	14	-35	9	141
国内	売上増減	43	-30	-1	4	16
	ミックス・売価	13	96	20	3	132
	コスト(通常)	14	-72	-8	5	-60
	うち為替	-15	-69	-	-1	-86
	うち購買市況	2	-37	-1	-7	-43
	一過性コスト	-34	-10	-2	4	-41
海外	ASB	67	-	-	-	67
	ペルマ	-	-	-16	-	-16
	その他 海外子会社	6	31	-20	-9	8
	為替換算影響	43	0	-8	2	36
販管費計		-45	-69	-76	15	-175
国内	販管費(通常)	-16	10	-22	13	-15
	一過性の販管費	-40	-71	-19	3	-127
海外	ASB	-45	-	-	-	-45
	ペルマ	-	-	-11	-	-11
	その他 海外子会社	16	-8	-18	3	-7
	為替換算影響	-34	-	2	-2	-34
のれん・PPA差		74	-	-8	-2	63
新規連結 ^{*2}		200	-	-	-	200

*1PPA:取得原価配分

*2GROHE

*3サンウエーブキッチンテクノ

5. セグメント別状況② 流通・小売り事業の状況 (日本基準)

■セグメント売上高とセグメント事業利益

単位：億円

	上期			下期			通期			
	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比	
売上高	979	1,015	3.7%	1,009	873	-13.5%	1,988	1,888	-5.1%	
事業利益	35	44	23.7%	36	37	3.9%	71	81	13.7%	
うち 建デポ	売上高	151	160	6.2%	157	-	-	308	160	-
	事業利益	-8	-3	-	-4	-	-	-13	-3	-

*2015年10月1日付で建デポを分社化し、持分法適用関連会社とした。

前年建デポを除く前期比は売上高+3%、事業利益+0.5%

■事業利益増減要因

<16/3期実績：前年同期比>

単位：億円

15/3期 実績	売上増	売価	コスト	販管費	新店費用	建デポ	合計	16/3期 実績
71億円	13	3	3	-11	-7	9	+10	81億円

■店舗数

単位：店

	15/3期	16/3期		17/3期	
	通期実績	通期実績	前期末比	通期予想	前期末比
SVH 出店数	1	3	+2	2	-1
NVH 出店数	0	0	0	1	+1
建デポ* 出店数	2	0	-2	-	-
閉鎖店舗数	1	1	0	0	-1
期末店舗数	148	86	-62	89	+3
内SVH	34	37	+3	39	+2
内NVH	9	9	+0	10	+1
内建デポ*	64	0	-64	0	0
内旧業態	41	40	-1	40	0

*2015年10月より持分法適用会社(株)建デポへ事業移管。

■ホームセンター事業実績

単位：億円

	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比
売上高	1,681	1,727	2.8%
事業利益	97	103	6.6%
事業利益率	5.8%	6.0%	+0.2P

■ホームセンター店舗売上伸び率

<16/3期 実績>

単位：%

全店ベース	+2.8
既存店ベース	+1.6

*既存店=13ヶ月基準

■ホームセンター客数、客単価の伸び率

<16/3期 実績>

単位：%

全店	客数	+0.5
	客単価	+2.4
既存店	客数	-0.4
	客単価	+2.0

6. セグメント別状況③ 住宅・サービス事業の状況 (日本基準)

■セグメント売上高とセグメント事業利益

単位：億円

	上期			下期			通期		
	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比
売上高	293	301	2.9%	303	315	4.0%	596	616	3.4%
事業利益	21	25	21.6%	21	12	-41.5%	42	38	-9.8%

■ 会社別の売上高と事業利益

単位：億円

	売上高			事業利益		
	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比
LIXIL住宅研究所	254	256	0.7%	18	19	8.2%
日本住宅保証検査機構(JIO)	113	116	2.6%	6	8	26.2%
ジャパンホームシールド	94	102	7.9%	9	9	-3.3%
LIXILリアルティ	91	100	10.2%	7	6	-19.1%
その他・連結組替	44	43	-	14	-4	-
住宅・サービス事業	596	616	3.4%	42	38	-9.8%

■ 住宅FCにおける契約数と上棟数 (前年数字の計上方法を修正)

契約数

単位：棟数

	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比
住宅FC計	3,955	4,042	2.2%

上棟数

単位：棟数

	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比
住宅FC計	3,429	3,493	1.9%

7. 商品・サービス別売上状況

(単位：億円)

(単位：%)

セグメント	主要商品名	15/3期 実績	16/3期 実績	前年同期比 (%)
	バスルーム	876	922	5.3%
	洗面化粧台	329	339	3.1%
LHT	住宅サッシ	2,012	2,041	1.4%
	エクステリア	1,164	1,109	-4.7%
	リビング建材	556	582	4.7%
	住宅用外壁	321	302	-5.8%
	タイル	294	293	-0.3%
	インテリアファブリック	305	302	-0.9%
	その他LHT	574	502	-12.7%
LBT	ビルサッシ	1,047	1,031	-1.5%
LKT	キッチン	1,026	1,041	1.5%
D&R	ホームセンター売上	1,988	1,888	*-5.1%
	海外売上	3,934	5,597	42.3%
	その他	1,344	1,522	13.2%
	売上合計	16,734	18,451	10.3%

前年同期比							
15/3期				16/3期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
0.8	-4.6	-4.3	-13.3	0.7	3.0	2.1	0.9
1.6	-3.1	-5.4	-8.6	4.0	6.6	5.7	4.7
5.6	-2.4	-3.1	-11.0	1.1	3.9	4.7	2.5
-5.2	-5.1	-8.1	-7.4	3.6	1.6	1.2	-0.6
8.3	3.2	-6.4	-17.5	-12.6	-8.4	0.8	2.9
0.6	-3.8	-8.3	-14.4	2.4	4.7	6.7	4.5
-5.9	-16.4	-12.3	-23.7	-6.0	-2.2	-11.8	-3.1
0.6	-3.1	-6.9	-7.7	-3.7	-2.5	4.1	0.5
-1.2	-6.9	-8.7	-6.0	-12.0	6.4	3.5	-2.1
3.0	4.5	-21.8	-9.9	-12.4	-21.2	5.0	-17.6
4.0	-2.2	0.5	-4.5	8.3	2.4	-7.2	-5.1
-5.3	-8.4	-6.8	8.8	0.4	1.6	2.5	1.4
2.6	6.4	5.4	-6.3	4.8	2.6	-14.0	*-13.0
64.1	42.4	26.6	18.6	21.8	68.3	46.3	32.7
-1.4	-0.6	-0.6	-14.6	4.3	-7.6	44.6	12.0
9.5	5.5	1.1	-3.1	5.0	15.0	13.0	7.8

* D&R ホームセンター売上において建デポのカーブアウトの影響を除いた前年比は以下の通りです。

16/3期 2.8%、4Q(3か月) 4.2%

8. リフォーム

ストックビジネス比率推定（建デポのカーブアウトの影響を除く、前年数字を修正）

単位：億円

	15/3期	16/3期	
	実績	実績	前年同期比
ストックビジネス売上	3,590	3,907	8.8%
国内総売上高に占める比率（子会社含む）	29%	27%	-1P

リフォーム商材売上

単位：億円

	14/3期	15/3期		16/3期		17/3期	
	実績	実績	前年同期比	実績	前年同期比	計画	前年同期比
リフォーム商材売上	2,826	2,796	-1%	3,043	9%	3,150	4%
リフォーム比率	31%	32%	+1P	35%	+3P	36%	+1P

*LJCのリフォーム関連商材の売上

リフォームネットワーク加盟店数

単位：店

フランチャイズ型	13/3末 実績	14/3末 実績	15/3末 実績	16/3末 実績
LIXILリフォームショップ [®]	377	376	424	480

*15年4月に「LIXILリフォームチェーン」から変更

単位：店

ボランティア型	13/3末 実績	14/3末 実績	15/3末 実績	16/3末 実績
LIXILリフォームネット	9,356	10,203	11,708	12,492

9. 海外生産比率・海外売上

海外生産比率

生産品目	所在地	海外生産比率	
		15/3期 実績	16/3期 実績
住宅用アルミサッシ	タイ・ベトナム	27%	27%
リビング建材	中国	43%	42%
衛生陶器	中国・ベトナム	43%	41%
水栓金具	中国・ベトナム	14%	11%
床タイル	中国・ベトナム	53%	56%

海外売上

単位：億円

地域	15/3期 実績			16/3期 実績				
	売上高	住宅関連 事業	LBT	売上高	住宅関連		LBT	
					前期比	前年同期比		
Greater China	845	313	532	887	4.9%	391	24.9%	496
タイ	158	139	19	181	14.8%	171	22.9%	10
ベトナム	100	99	1	119	19.2%	119	19.8%	0
韓国	102	100	1	116	13.9%	116	15.0%	0
その他アジア	182	78	105	241	32.2%	167	114.4%	75
中東	249	0	249	262	5.3%	139	-	123
北米	1,568	971	598	2,065	31.7%	1,257	29.5%	808
ヨーロッパ	577	4	573	1,410	144.3%	813	-	596
その他	154	50	105	317	106.0%	201	306.2%	116
合計	3,934	1,753	2,181	5,597	42.3%	3,372	92.3%	2,225

ご参考：海外販売比率

単位：億円

年度	12/3期 実績	13/3期 実績	14/3期 実績	15/3期 実績	16/3期 実績
海外売上高	539	2,051	2,939	3,934	5,597
比率	4.2%	14.3%	18.0%	23.5%	30.3%

10. ペルマステイリーザ・ASB・GROHE

■業績（日本基準・円建て）

ASB 決算期=4月~3月
 ペルマ 決算期=1月~12月
 GROHE 決算期=4月~12月（GROHEは14年1月から15年3月までは持分法適用関連会社） 単位：億円

	14/12期・15/3期			15/12期・16/3期					
	実績			実績					
	ペルマ	ASB	GROHE	ペルマ	前年同期比	ASB	前年同期比	GROHE	前年同期比
為替レート(円)	140.7	110.0		132.4		120.2		133.7	
売上高	1,982	999		2,091	6%	1,202	20%	1,408	
事業利益	60	24		23	-61%	47	98%	334	
	%	3.0%	2.4%	1.1%	-1.9P	3.9%	+1.5P	23.7%	
総資産	2,290	998		2,125	-7.2%	921	-7.7%	4,726	

■業績（IFRS・現地通貨ベース）

ペルマ・ASB・GROHE

決算期=4月~3月

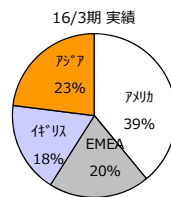
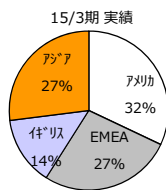
	15/3期			16/3期						17/3期			
	実績			実績						通期 予想			
	ペルマ	ASB	GROHE	ペルマ	前年同期比	ASB	前年同期比	GROHE	前年同期比	ペルマ	ASB	GROHE	
単位	百万ユーロ	百万ドル	百万ユーロ	百万ユーロ		百万ドル		百万ユーロ		百万ユーロ	百万ドル	百万ユーロ	
売上高	1,564	757	1,315	1,493	-5%	1,000	32%	1,409	7%	1,645	1,054	1,521	
事業利益	52	16	199	-18	赤字化	45	184%	202	1%	56	57	210	
	%	3.3%	2.1%	15.2%	-1.2%	-4.5P	4.5%	+2.4P	14.3%	-0.9P	3%	5%	14%
総資産				1,586		818		3,574					

ペルマステイリーザ

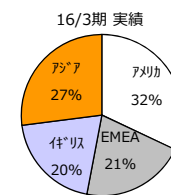
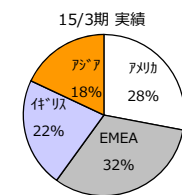
決算期=4月~3月

■売上高構成比

*EMEA=その他欧州、中東、アフリカ地域



■新規受注構成比



■受注状況

単位：百万ユーロ

	15/3期 実績	16/3期 実績
新規受注	1,535	1,129
期末残高	2,491	2,002

GROHE

■無形資産配分

単位：百万ユーロ

	16/3期			償却年数
	確定額 (JGAAP)	償却額 (JGAAP)	期末残高	
のれん	1,220	46	1,159	20年/IFRSは 償却なし
商標 (無形固定資産)	1,349	-	1,349	なし
その他無形固定 資産	231	18	213	6~13年
固定資産・ 在庫等再評価	106	31	76	個別判断
合計	2,907	95	2,796	

11. のれん

負ののれん

今期は該当なし

正ののれん（その他無形固定資産含まず）

単位：億円

		15/3期 通期実績		16/3期 通期実績	
		償却額	残高	償却額	残高
LWT	GROHE	-	-	61	1,527
	ASB	9	180	10	155
	アメリカンスタンダード AP	2	-	-	-
LHT	川島織物セルコン	6	7	6	1
	ハイビック	3	4	3	1
	スターアルビルド	4	0	-	-
LBT	ベルマスティリーザ	34	281	32	221
LKT	驪住海尔住建	7	17	16	0
	他	4	5	3	4
	合計	68	495	131	1,910

販管費	65	120
特別損失	4	11

12. 近年実施したM&A、資本業務提携一覧（日本基準）

海外企業のM&A

単位：億円

実施年月	会社名	狙い	売上規模		取得金額	所有割合	のれん	効果
			取得時	15年度実績				
2009年7月 (一部 2009年11月)	アメリカンスタン ダード アジア・パ シフィック	衛生陶器（アジア）	235	-	176	100%	のれん 21 知的財産権 35	アジアでの事業プラット フォーム アジア拠点の再編
2011年1月	上海美特カーテン ウォール	ビルサッシ(中国)	120	196	32	75%→0%	5	ビルサッシ中国展開
2011年12月	ベルマスティリーザ	ビルサッシ (グローバル)	1,160	2,091	608	100%	のれん 343 無形固定資産 350	ビルサッシの グローバル展開
2013年8月	アメリカンスタン ダード ブランズ (ASB)	水回り(北米)	820	1202	305	100%	のれん 147 無形固定資産 217	アメリカでの事業プラッ トフォーム
2013年10月	スターアルビルド	ビルサッシ(インド)	17	4	7	70%	4	インド事業展開
2014年1月 (追加 2015年4 月)	GROHE Group	水回り、特に水栓金 具（欧州、グローバ ル）	1,575	1,865	801	44%→ 56%	のれん 1,573 無形固定資産 2,093	欧州での事業プラット フォーム
2014年10月	GROHE DAWN WaterTech Holdings	水栓金具、衛生陶器 (アフリカ)	129	119	86	51%	のれん 12 無形固定資産 78	サブサハラ市場への アクセス

日本企業のM&A

単位：億円

実施年月	会社名	狙い	売上規模		取得金額	所有割合	のれん	効果
			取得時	15年度実績				
2010年4月	新日軽	住宅・ビル用サッシ	1,100		0	100%	54	サッシシェア50%超へ コスト削減
2010年4月 (一部09年6月)	サンウエーブ工業	キッチン	850	2011年4月 LIXILに統合	137	80%→ 13年 100%	-61	キッチン首位へ コスト削減
2011年8月 (一部10年12月)	川島織物セルコン	カーテン等内装材	343*	301	10/12月 22億円 11/8月 株式交換 比率 1:0.035	100%	17	窓回り等での販売シナ ジー、川島ブランドの活用
2011年10月	ハイビック	木材関連	244	203	株式交換 比率 1:0.094	100%	14	木材・プレカット事業 の強化

*事業分離した自動車等内装事業を除く

日本企業との資本・業務提携

単位：億円

実施年月	会社名	狙い	取得金額	所有割合	効果
2010年12月	レオパレス21	賃貸大手 リフォーム 等	18	9%→0%	レオパレス向け 売上拡大
2013年9月	エディオン	家電量販店リフォー ム	50	8%	エディオン向け 売上拡大
2013年10月	シャープ	家電と建材を融合さ せた新商品開発	50	1%→0.2%	新商品開発・売上拡大

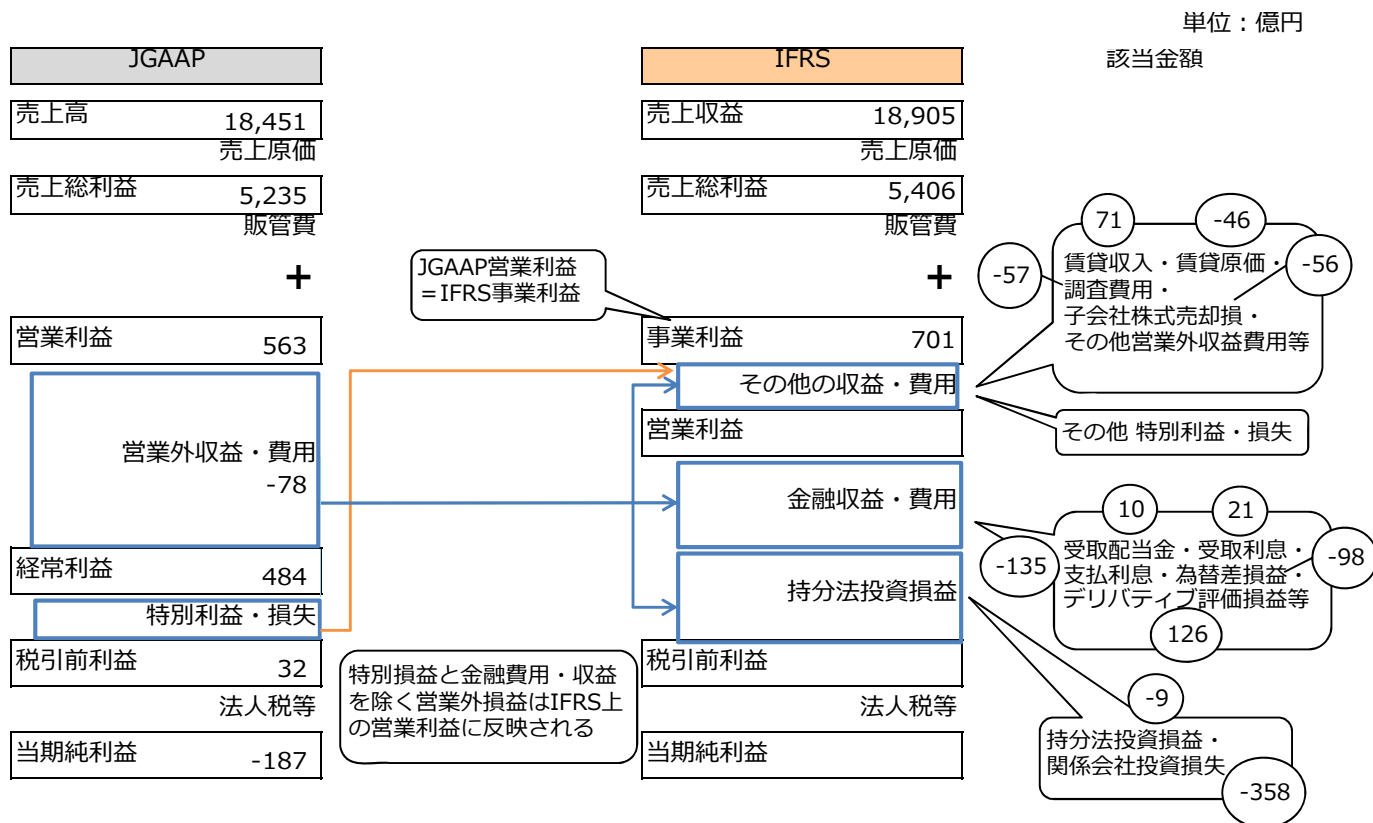
1 3. IFRS/JGAAPの主要な会計処理相違点

	JGAAP	IFRS	16/3期 事業利益インパクト
連結範囲	重要性基準に基づき連結範囲が判定される	全部連結が原則	JGAP非連結-IFRS連結の子会社が入上積みとなる +46億円
会計期間	最大3カ月の決算期のズレは許容される	LIXILグループは3月期決算で統一	12月決算期会社の1-3月分が期ズレとなる +2億円
減価償却	日本国内は主として定率法(税法準拠)	定額法に統一(経済便益の予測消費パターンを反映)	新規設備は償却費減、経過設備は償却費増となる傾向 -13億円
のれん償却	20年以内で償却	償却しない ただし、毎期減損テスト実施	のれん償却費がそのままPLインパクトとなる +120億円
退職給付 数理差異	PL費用計上(益は費用マイナス)	その他の包括利益計上	JGAAP費用計上額がPLインパクトとなる -25億円
工事収益	完成基準(一部、進行基準)	原価回収基準(一部、進行基準)	工事収益は期間対応する(進行基準部分は変わらず) -

1 4. IFRS/JGAAP段階利益 (数字は2016年3月期)

IFRSのPLにおいては、段階利益の構造が変更されます。

現状のJGAAPの“営業利益”は、IFRS導入後は“事業利益”として継続管理を行います。



報道関係各位

2016年5月9日

2016年3月期決算:売上高、営業利益ともに成長を継続 国内リフォーム事業、LWTとLBTの海外事業が増収をけん引

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：藤森義明、以下 LIXIL グループ）は本日、2016年3月期決算を発表しました。日本会計基準（JGAAP）に基づく連結売上高は、前期比10%増の1兆8,451億円となりました。主として、前期比9%の伸びを示した国内リフォーム事業に加え、LIXIL Building Technology（LBT）および LIXIL Water Technology（LWT）の海外事業の売上増加、GROHE の新規連結効果が貢献し、増収を達成しました。

JGAAP に基づく営業利益は、前期比9%増の563億円となり、営業利益率は3.0%と前年とほぼ横ばいでした。一時的要因を除く実質ベースの営業利益は前期比26%増の651億円となり、順調に成長しています。（親会社株主に帰属する）当期純利益は、関係会社投資関連損失などの特別損失を計上したことから、187億円の赤字となりました。配当については、期末配当30円とし、通期の合計は前期度と同額の60円となります。

2016年3月期の売上高および営業利益はともに、昨年11月2日に修正発表した通期業績予想数値をやや下回る結果となりました。営業利益については、金利低下の影響などで国内の退職給付債務に係る数理差異が108億円のマイナス影響となり、さらに中国や中東などの不動産市況の悪化に伴うLBT海外事業での計画未達58億円など、一過性の要因が影響しました。

LIXIL グループ社長兼 CEO の藤森義明のコメント

「LIXIL グループは、堅調な売上拡大を達成しましたが、これはまさに、当社が推進してきたグローバル化の進展によるものだといえます。また、戦略的な意思決定に基づき、事業価値向上に向けた積極的な施策を推進したことにより、当社の事業体制はこれまで以上に強固なものとなりました。LIXIL グループは過去5年間にわたり、企業文化、業務効率、ガバナンスの観点から数々の改革を進めるとともに、海外売上比率を30%にまで拡大し、グローバル市場での足場を固めてきました。当社は確固たる事業基盤を基に、更なる成長と価値創造を実現してまいります」

LIXIL グループ COO の瀬戸欣哉のコメント

（6月にLIXILグループ社長兼CEOに就任予定）

「今年1月に着任してから最初の100日間は、主要10か国における数多くの拠点や工場を訪問し、様々な部門の役員や社員と意見交換することを重視してきました。こうした対話を通じて、グローバルに事業を展開するLIXILグループの将来に大きな期待が寄せられていることを強く認識しています。LIXILグループの長期的な成長を確実なものとするために、シナジーの最大化、コンプライアンスの強化、機動力のあるフラットでシンプルな組織の構築、といった基盤固めに注力していきます。さらに、当社にとって最重要市場である日本において、メーカーならではの強みを発揮し、顧客に対して価値ある提案を行うことで、さらなる成功につなげてまいります」

各テクノロジー部門の業績¹ および戦略的優先事項

LIXIL Water Technology（LWT）では、LIXIL、INAX、GROHE、American Standardのグローバルブ

¹ 各テクノロジー部門の業績については、国際財務報告基準(IFRS)に基づく数値を掲載しており、2016年3月期実績は速報値です。なお、IFRSにおける事業利益は「売上高－売上原価－販管費」で、日本会計基準(JGAAP)の営業利益に相当します。

ランドを展開しており、2016年3月期売上高は前期比54%増の6,377億円となりました。事業利益は同100%増の521億円で、事業利益率は8%となりました。2017年3月期は、売上高は1%減の6,300億円、事業利益は5%増の545億円を見込んでおり、事業利益率は9%となる見通しです。ただし、為替変動の影響を除いた場合、売上高は前期比3%増となる見込みです。主要市場である米国において American Standard が復調基調にあることや、欧州市場への衛生陶器製品の投入、シャワートイレのグローバル展開、米国市場での水栓金具の売上拡大などを背景に、LWT 事業のさらなる成長を見込んでいます。

LIXIL Housing Technology (LHT) の2016年3月期売上高は、前期比2%減の6,046億円、事業利益は同16%増の403億円、事業利益率は7%でした。2017年3月期は、売上高は1%増の6,080億円、事業利益は8%増の435億円を見込んでおり、事業利益率は前年度と同水準の7%と予想しています。LHT では、生産性の改善、高性能ハイブリッド窓（アルミ樹脂複合窓）への注力と高性能樹脂窓のシェア拡大、リフォーム需要に対応した取り付けが簡単で施工時間の短縮につながる新商品の開発を強化していきます。

LIXIL Building Technology (LBT) の2016年3月期売上高は前期比5%減の3,320億円、事業損失は56億円でした。これは、中国や中東の経済減速などを受け、2016年3月に売却した上海美特幕墙有限公司（上海美特）や、Permasteelisa の一部の物件で引当金繰入を行うなど一過性の要因が影響しました。アジア全体で引き続き厳しい事業環境が想定されることから、2017年3月期は売上高3,190億円と4%の減収を予想しています。しかし事業利益では、収益性が低い事業となっていた上海美特の売却や、Permasteelisa グループの利益率およびキャッシュフロー管理の向上から85億円と黒字化する見通しであり、事業利益率は3%を確保する見込みです。

LIXIL Kitchen Technology (LKT) の2016年3月期売上高は、前期比3%減の1,121億円となりました。事業利益は18億円で、事業利益率は2%でした。2017年3月期については、売上高が2%増の1,140億円、事業利益は14%増の20億円の予想です。LKT では、工場管理体制の強化と生産性向上を通じて、国内事業の利益率改善を図るとともに、中国の合弁事業の再活性化に注力していきます。

流通・小売り事業および住宅・サービス事業はそれぞれ堅調に推移しました。ホームセンター事業を展開する LIXIL ビバが11年連続の増収を達成し、流通・小売り事業の売上高については、建デポ事業を2015年10月に分社化した影響を調整すると、3%増の1,688億円となりました。流通・小売り事業の調整後事業利益は過去最高の73億円、事業利益率は4%となりました。住宅・サービス事業については、売上高637億円、事業利益43億円、事業利益率7%となりました。2017年3月期は、流通・小売り事業の売上高は2%増の1,730億円、事業利益は3%増の75億円、事業利益率4%を見込んでいます。住宅・サービス事業では、2017年3月期売上高は7%増の680億円、事業利益は29%増の55億円、事業利益率は8%となる見通しです。

なお、LIXIL グループは2016年3月期の有価証券報告書より、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用します。IFRS に基づく2017年3月期業績予想は、売上高1兆8,800億円、事業利益は前期(速報)比4%増の730億円となります。(親会社の所有者に帰属する)当期利益は、前期の赤字(見込)から黒字化し280億円を見込んでいます。